

他団体との連携に関する情報

登録番号	団体名	千葉県 JICA シニアボランティアの会
623		
1. 他団体との連携の希望	連携したい	
2. 連携を希望する相手	町内自治会・地域運営員会 行政 他の市民活動団体 学校	
3. 連携する場合、団体が提供できるもの（こと）	スキルを持った人材を派遣できる。 〔スキルの内容：JICA シニア海外ボランティア経験者の職種に応じたスキル、下記参照〕	
	知識やノウハウを提供できる。 〔知識やノウハウの内容：JICA の募集職種である、計画・行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源（含日本語教育）、保険・医療、社会福祉に関連するもの、または各会員が持つ専門知識やノウハウ、要望に応じて適した会員が提供する。〕	
4. 他団体と連携する際、相手方に費用負担を求めるか	求める 〔※内容や金額、条件等：当会の「出前講座」は実績に示した通り公民館等から教育機関にまで広く対応する。原則、JICA 規定に基づき講師料は 4,600/時間、交通費別途だが、応相談で対応している。〕	
5. 他団体と連携した実績（事例）や今後連携する予定		
連携相手（団体等の名称）	連携内容	
の 各 区役所	2019 年度の本講座「開発途上国から学ぶ」通年 10 回の講師を務めた。	
旭市海上公民館	出前講座講演「エチオピア：最も古い独立国、そして親日国」、「海外文化と国際理解・南米 3 か国体操指導を通して」	
柏市立高田小学校	「アフリカ？大洋州？開発途上国？感染症(マラリア)?」、「ネパールとポカラ国際山岳博物館」その他実績は「調査票1」の「主な活動実績」に記載	
6. 他団体と連携して行いたい取組の内容		
連携相手	連携して行いたい取組の内容	
各市で計画開催する市民大学等	JICA シニア海外ボランティア活動の専門的な実体験を生かした講演を通して、市民の国際理解と諸活動に寄与したい。	
各市の公民館等	JICA シニア海外ボランティア活動の日常実体験を生かした講演を通して、市民の国際理解と諸活動に寄与したい。	
各市の学校・大学	JICA シニア海外ボランティア活動の日常実体験を生かした講演を通して、JICA のビジョンである「信頼で世界をつなぐ」ことの将来にわたる重要性を伝えたい。	
7. 他団体と連携することについての考えや、連携する際の課題など。		